

- 1 目的 早期に医療系サービスを導入することで、日常のケアに従事する支援者が変化に気付くことができ重度化を防ぎ緊急のリスクを軽減できる。また、在宅療養者・家族の在宅療養の意向を尊重した多職種によるチーム支援が提供できる。
- 2 テーマ 医療的視点でチーム支援を考える
- 3 対象 医療・介護・福祉等の専門職
- 4 日時 令和6年11月22日（金） 18時30分から20時30分まで
- 5 会場 燕三条地場産業振興センター リサーチコア
7階マルチメディアホール
- 6 主催 三条市地域包括ケア総合推進センター

7 内容

時間	内 容
18:00～	受付
18:30～	1 開会挨拶 三条市地域包括ケア総合推進センター センター長 郷 秀人
18:35～ (40分)	2 事例検討 テーマ「訪問看護、訪問診療を導入し、在宅療養継続が可能となった事例 ～支援者間の情報共有と連携について～」 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 事例紹介 事例提供 居宅介護支援センターつかのめの里 介護支援専門員 佐藤 雄一 氏 支援者の立場から 済生会三条訪問看護ステーション 管 理 者 阿部 育子 氏 訪問看護師 山倉 孝通 氏 ディサービスセンターこころつくし 相 談 員 大川 美佐子 氏 シルバーサポートあすも 福祉用具専門相談員 本間 美月 氏
19:15～ (5分)	➤ オリエンテーション
19:20～ (40分)	➤ グループワーク
20:00～ (15分)	➤ 全体共有
20:15～ (10分)	3 閉会挨拶
20:25～	4 閉会 アンケート記入

- 8 参加申込 別紙2の参加申込書を使用し、11月8日（金）までに申し込む。